



令和8年 (2026年) 2月27日(金)

No. 16572 1部377円(税込み)

発行所

一般社団法人 発明推進協会

東京都港区虎ノ門2-9-1

虎ノ門ヒルズ 江戸見坂テラス

郵便番号 105-0001

[電話]03-3502-5493

特許ニュースは

●知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年75,090円 6カ月39,165円
(税・配送料込み)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び
入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

発明推進協会ウェブサイト <https://www.jiii.or.jp>

目次

☆AI時代の知財とマネタイズ…………… (1)

☆オンライン知的財産セミナー(事業に資する
知財戦略・知財活動、知財の獲得・活用) … (8)

AI時代の知財とマネタイズ

弁理士法人 正林国際特許商標事務所
代表社員 正林 和子

1. はじめに

かつて、日本の高度経済成長を支えた富の源泉は、工場や設備、在庫といった目に見える「有形資産」にあった。金融機関はこれら物理的な不動産や動産を担保に融資を行い、企業はその資金で設備投資を行って生産能力を拡大し、経済は右肩上がりに成長した。製造業が国の背骨であった時代、これは極めて合理的なシステムであった。融

資をする側にとっても、万が一返済が滞れば処分できる資産(担保)が存在するという安心感があったからである。

この時代において、特許権などの知的財産権に求められた役割は比較的シンプルであった。それは、自社の物理的な製品を模倣から守るための「防壁」として機能していれば、ほぼ十分と理解されていた。

あなたの知識技術を活かしてみませんか?

先端技術リサーチャー募集

審査経験者大歓迎!

すべての技術分野で募集中 採用時 65歳まで応募可能

IPCC

一般財団法人
工業所有権協力センター

HP

